



ポケットブック 『私たちの日野市の野鳥』

●市内の子どもたちに寄贈

5月、当会では会の環境教育施設「鳥と緑の日野センター(WING)」のある、地元・日野市の子ども向けにポケットブック『私たちの日野市の野鳥』を発行、バードウィークに市立小・中学校全25校の児童生徒全員(約1万3,000人)に寄贈しました。

このポケットブックは、都内でも緑と清流が豊かな日野に暮らす子どもたちが身近な野鳥に気づき、観察を楽しむのに役立つよう作られました。多摩地域の野鳥を70年以上にわたり観察してこられた津戸英守先生(当会個人特別会員、中西悟堂協会)



『私たちの日野市の野鳥』表紙

会長、財団法人日本鳥類保護連盟理事)が監修を担当されました。5月12日に市立日野第三小学校で行われた贈呈式では、鈴木君子当会専務理事から、市内の全校を代表して同小の京極澄子校長と4年生2人に小冊子が手渡されました。京極校長は「校庭のビオトープの野鳥観察など今後の授業にぜひ活用したい」、子どもたちは「カワセミやキジなど鮮やかな鳥が載っていて、見ていて楽しい」と笑顔で話していました。



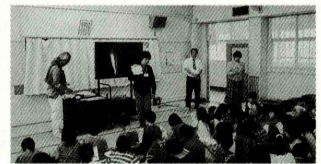
ポケットブックを受けた日野第三小の子どもたち(後列右は京極校長、左は日本野鳥の会の鈴木専務理事)

●出前授業での活用

現在、当会では日野市の子どもたちに向けて、ポケットブックを教材に活用した出前授業を行っています。

贈呈式が行われた日野第三小学校から早速お招きをいただき、6月1日に鈴木専務理事と当会奥多摩支部会員2名が、4年生約60人を対象に授業を行いました。

まずは絶滅危惧種のツル、タンチョウと少女の交流を描いた当会のオリジナルアニメーション



ポケットブックを使っでの出前授業

「白いファンタジア」をみんなで見賞し、自由に感想を話してもらいました。続いてポケットブックを広げ、タンチョウのくらす北海道から、自分達の身近な野鳥に目を向けてもらい、実際に校庭でのバードウォッチングも行いました。

環境学習の導入として、野鳥から身の回りの環境に気づきかけづくりの授業ができました。今後も、ご希望の学校には積極的に出前授業に伺う予定です。

なお、このたびのポケットブックの発行は地元の日野市・個人の以下の方々からのご協賛で実現しました。京王電鉄株式会社、コニカミノルタホールディングス株式会社、財団法人日野自動車グリーンファンド、大東京信用組合日野支店、高幡不動尊、多摩信用金庫、津戸英守様(50音順)。ご支援に厚く感謝申し上げます。

ポケットブックや出前授業に関するお問合せは、鳥と緑の日野センター 担当・渡辺 電話 042-1593168 77までご連絡ください。

文(財)日本野鳥の会 鳥と緑の日野センター(WING)

渡辺 浩行

市内一斉清掃

菊 ねえ大ちゃん、裏にあるゴミ袋はなんだい？

大五郎 うん？そりゃ一斉清掃で集めたゴミだ。後で持っていくてくれるらしいぜ。

菊 そうじゃなくて…

大五郎 何がいけねえんだ？

菊 ほらゴミ袋に土を入れちゃってるだろ？これじゃ袋が破れたりして大変なんだよ。

大五郎 そうなのかい？

菊 そうさ。だから土は丈夫な「土のう袋」に入れるのさ。

大五郎 ふん。

菊 せっかく清掃してゴミの分別もすっかりやってるんだ。

そんな所でケチがついちちゃつ

まらないだろ？

大五郎 ん、そうだな。ところどころでゴミ袋のあまりってあるかい？

大五郎 ダーメ！家庭ごみは有料袋だろ？

菊 ちえっ。ばれたか。

今回も皆様のおかげで無事に実施することができました。参加頂いた皆様お疲れ様でした。次回は11月28日(日)に行います。よろしくお願ひします。

5/30(日) 市内一斉清掃		
参加人数	収集量(可燃)	収集量(不燃)
17,283名	43,410kg	1,350kg

通路用橋梁の利用状況について

水路清流係では、市内の主要水路について毎週点検をかねて清掃を行なっておりますが、個人で水路に掛けている橋に車やバイクを駐車させたり、物置を設置したりと様々な光景を目にします。しかし、公共用財産である水路は、許可をとり橋掛けをしていただいても個人の土地のような使用はできません。市内の用水路等は、「日野市

普通河川等管理条例」に基づき、河川占用許可を受けていただかないと橋掛けを行なうことはできません。また、この河川占用許可は、通路用としての許可でございますので、通路以外の目的での使用はできません。目的外使用につきましては、指導を行ってまいりますのでよろしくお願ひいたします。なお、清流ニュース83号にて普通河川占用料の納付のお願いしていましたが、請求書及び納付書の発送が遅れたことを深くお詫びいたします。